

聖セシリア女子中学校

二〇二六年度 入学試験問題

国語三次

注意事項

- 一. 問題は  ～  まで、十二ページあります。
- 二. 解答はすべて解答用紙に書きなさい。
- 三. 解答するときは、なるべく漢字を使用しなさい。

受験番号

氏名

一 次の下線のカタカナを漢字に直し、漢字は読み方を答えなさい。

- |               |              |              |
|---------------|--------------|--------------|
| 1 ヨウフウの家に住む。  | 2 新しいザセキにつく。 | 3 経済学をオサめた兄。 |
| 4 雪による交通キセイ。  | 5 鉄のサイセイを行う。 | 6 サン味の強い食品だ。 |
| 7 ドクダンで決定した。  | 8 貴重な経験ができた。 | 9 炭火で軽くあぶった。 |
| 10 かわいい仕草の女性。 |              |              |

二 例にならって、次の1、2について、それぞれの条件を満たした短文を一文で作りなさい。なお、ことばの順番を変えたり、活用（文の流れの中でことばの形を変化させること）させたりしてもかまいません。

例 「すでに」、「お目当て」ということばを使った主語・述語の整った文。

私は友だちと買い物に出かけたが、お目当ての品物はすでに売り切れてしまっていた。

- 1 「はなやかに」、「準備」ということばを使った主語・述語の整った文。
- 2 「訓練」、「万が一」ということばを使った主語・述語の整った文。

三 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

「おじいちゃん、治療ちりょうしないんはまちがってると思うよ」

みずほはいらいらして胸が苦しいようで、シートベルトを手でゆるめるように引っぱった。おじいちゃんは窓まどをすこしあけた。

「そうか、知ってたんか。かくす気はないんやけどな、まあ、はやくから心配させてもな」  
ちよつと小首こくびをかしげ、苦わらいた。

「心配するよ。あたりまえやわ、お兄ちゃんもみんな心配してる。みんなおじいちゃんに長生きしてほしいから」

怒りか心配か自分でもわからない。涙がこみあげてくる。それでもおじいちゃんは、なだめるようにしずかにつづけた。  
「おおきに。でもな、今のおじいちゃんには、病院のベッドで過ごすのは、もったいない時間の過ごしかたやねん。お医者さんもおじいちゃんの年齢になつたら抗がん剤などの治療はすすめられない、っていうてはる。おじいちゃんは先生の信頼した」

深刻な声でも無念そうな声でもない、いつものやわらかいものいいだった。それがまたみずほはもどかしく、さらにふみこんだ。

「でも治療しないと、どんどん、わるくなるんちがうの？」

「いやいや、そうともかぎらん。治療することで副作用がひどく出て、今まであたりまえにしてきたこともできんようになる場合もある。おじいちゃんはな、死んだらおしまいとは思ってない。生きることのつづきに死があると思うから、今のくらしを大切にして、ふつうにつづけていたいだけや」

「どんな？」

「朝おきて、二階でみずほたちの足音がしているのを聞くやろ。あ、上の四人は元気で、仕事やら学校に行くんやなあ、って思うとうれしいで。それから身じたくして、おばあちゃんの作ってくれる朝ごはんをおいしいなあというて食べるやろ。いっしょにあとかたづけしたり、庭の花の手入れしたりする生活が好きやねん。それがうれしい」

「好き？ うれしい？ 毎日でも？」

「ああ、草花に日がちゃんとあたるようにまわりを手入れして、水やったり、ときには肥料や消毒もしてやるねん」

それはみずほも見ているから知っていた。でもそれが、すぐくうれしいというほどだとは思わなかった。

「それにな、『せいっぱい咲くんやで』って声かけてやるんや」

「花に？」

「そうや、話しかけるんが大事や。そうするとちゃんと咲いてくれるから、『おおきに、みごとな咲きっぷりやで。みんなを楽しませてくれて、ありがと』っていうねん。それはみずほのひいおばあちゃんの口ぐせやってんけど、知らんまにぼくもいうようになつてたな。それから、花が終わつたら、お礼肥するやろ。あれは咲いてくれてありがとう、おつかれさん、ゆつくり休んで、また来年も咲いてな、というお礼とお願いのごちそうや。咲いたあとは地面の下で球根を太らせたり根を広げたり、種を飛ばしたりして子孫を残していく。花の世話するものはな、花を見ることができると保証されたわけやない。それでも

元気な花が咲くように、そのときどきのしなないといけないことするのが、大事な仕事や」

おじいちゃんⅢのいわんとすることはわからなくはないけれど、どこかそのさきを聞きたくない気持ちがあつて、みずほは

A したままだった。

「人間もな、自分の持ち時間をていねいに生きることが大切やと思う。まわりの人といっしょにな。そうすると、自分がいなくなつても、その人たちの心の中に、いっしょに過ごした思い出が残るやろ。おじいちゃんもな、いろんな人が心の中でいっしょに生きてるように思うんや。おじいちゃんの親もずいぶん前に死んだんやけど、おじいちゃんの心の中でいっしょに生きつづけている。だからおじいちゃんも、みずほたちの心の中で生きていたいな」

「いやっ！ おじいちゃんがいなくなるのはいやや」

みずほは泣きそうになつた。

「ごめんごめん、みずほには刺激しげきが強すぎたな。でもな、生まれたら、かならず死ぬ、これは動かしようがない。それはわかるな」

うん、とみずほは B うなずいた。でも考えたくない。

だって、おじいちゃんは運転もしている。庭仕事もできる。散歩も毎日している。元気ではないか。だからもつともつと歳ととをとつて、歩けなくなつたり、寝たきりになつて、ごはんも食べられなくなつたときなら、ともかく。

「おじいちゃんのこと、大事に思つていてくれて、ありがとう」

ちらつと顔をみずほにむけて、おじいちゃんは、ほほえんだ。

「だけど心配せんでもええよ。そりや、おじいちゃんがまだ四十歳さひやつたら、子どもや家族を残して死なれへんと苦しむやろな。なにがなんでも一日でも長く生きたい、と思うのがふつうやな。でも今はなんの心配もない。ありがたいことや」

「生きるの、いやなん？」

「そーんな、あほな」

おじいちゃんはわらつた。

「生きるの、楽しいで。朝目がさめたら、おー、きょうはなにが待ってるかな、どんなことがあるかな、って思う。どんな人に会うかなと思うとな、無精ぶしょうひげなんかはやしてられん。朝、顔あらつて、ひげそりして、髪かみにくしを入れたら、しゃきつとしてな、わくわくする」

そんなあたりまえのこと、なにが楽しいんだろう。みずほはおじいちゃんを遠く感じた。

おじいちゃんは死ぬのかもしれない。たったひとりで、みずほたちの前からいなくなってしまう。二度ともどってこられない。話すこともふれることもできなくなってしまふ。

「あいな」

おじいちゃんがしずかな声でいった。みずほは顔をあげた。

走りぬける道路わきの柿畑は、赤い実がめだちはじめていた。

「ほら、あそこの柿の木、この間まで青かったのに、時季が来て赤くなってる。じきに熟すやろ。そしたら、ぽとりと落ちる。だけどな、それで終わりやないやろ。種が土に落ちて、芽を出し、大きくなる。柿の実は落ちることのでつぎの命につながっているんやなあ」

おじいちゃんは、ひとりごとをつぶやくように話す。

「生きることを投げだしたり、あきらめたりするつもりはないねん。時間やなくて中身や。自分らしい生きかたして、柿の実がぽとりと落ちるように、自然にまかせて終わりたいんや」

おじいちゃんはいいながらうなずいていた。

「『たとえあした、世界が滅亡しようともきょうわたしはりんごの木を植える』ってことば、聞いたことないか？」

「聞いたことない」

C 答えた。おじいちゃんは、「そうか、まだ小学生やもんなあ」といつてくすつとわらった。みずほはむっとした。

「あした世界がなくなるとわかっているのに、そんなむだなこと、なんでするの」

「そう思う？ たしかにな、おじいちゃんもはじめてこのことばを知ったときには、そう思うたなあ。だけどな、そのうち考えるようになったんや。人はみんなかならず死ぬやろ。それやったら死ぬために生きるんなら、なんで生きなあかんのやろか、とな。死んだらそれで終わりやったら、生きるのは無意味や」

うーん、たしかにそうともいえるけど、でも……、とみずほはどこか納得できなかった。

「りんごの木を植えるのは未来への希望やろな。りんごが実のを見ることはでけへんでも、新しいりんごの木を植えることが自分の役目だとしたら、それを淡々とすることやろな、と思うんや。希望をなくしたら、人間、生きるのが苦しいと思うで」  
希望！ みずほはそんなことを、まじめに考えたことはなかった。

（大谷美和子『りんごの木を植えて』ポプラ社）

問一 空らん A C に入る語としてふさわしいものを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア 力なく      イ しみじみと      ウ そくぎに      エ しげしげと      オ むつつりと

問二 ~~~~~線 I 「小首をかしげ」、II 「もどかしく」、III 「いわんとすること」、IV 「淡々と」の意味としてふさわしいものを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

I 「小首をかしげ」

- ア 相手の思いや考えを疑い、心中をさぐろうと下からのぞきこむこと  
イ 不審ふしんに思ったり不思議に感じたりしてちよつと首をかたむけること  
ウ 相手の考えがまったくわからないため、お手上げとなっていること  
エ 自分の本心を見ぬかれまいとして、ちよつとだけふざけていること

II 「もどかしく」

- ア 計画や予定などが急に変わったため、不自由を感じてしまうこと  
イ 自分ではどうしようもないことに出くわして、苦しみなやむこと  
ウ 自分の考えが相手に正しく伝わらず、いかりを覚えてしまうこと  
エ 自分の思いどおりに物事が進まず、いらいらした気分になること

III 「いわんとすること」

- ア 言わないよう努力すること      ア 物事にこだわらず、あっさりとしていること  
イ 言ってもしかたのないこと      イ 落ち着いた気持ちで、ゆっくり行動すること  
ウ 言い表そうとしていること      ウ あまり工夫をせず、一つの方法を続けること  
エ 言うまでもなく分かること      エ 何をすることも考えすぎず、気ままに行うこと

IV 「淡々と」

問三 ——— 線①「涙がこみあげてくる」という部分で、「みずほ」の「涙」の理由は二つあると考えられます。その二つをそれぞれ三十文字以内で答えなさい。

問四 ——— 線②「いつものやわらかいものいいだった」から分かることはなにか、もっともふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア おじいちゃんが元気でいつもと同じであるふりをする事によって、いやな話題をそらせようとしていること。  
イ おじいちゃんが感情をおさえて優しく語ること、あせっているみずほを無理やりなだめようとしていること。  
ウ おじいちゃんが自分の身に何が起きているかを知って決意をかため、すっかりあきらめてしまっていること。  
エ おじいちゃんがすでに自分の意見を決めており、みずほの思いは知りながら何とか説明しようとしていること。

問五 ——— 線③「お礼肥」とはどのようなものか、次の空らんア、ウをうめる形で答えなさい。

ア  として  ために  こと。

問六 ——— 線④「自分の持ち時間をていねいに生きること」とはどのような生き方か、本文のこれより前の部分から二十字以内でぬき出し、「……生き方。」という形につなげられるように答えなさい。

問七 ——— 線⑤「おじいちゃんもな、いろんな人が心の中でいっしょに生きているように思うんや」について、これより前の部分で、おじいちゃんがそう感じている事実がひとつあります。それはどのような事実であるかを答えなさい。

問八 ——— 線⑥「みずほはおじいちゃんを遠く感じた」理由としてもっともふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア あたりまえの日常を楽しみとするおじいちゃんの考え方が、今一つみずほには分かりかねたから。  
イ 今はいっしょに毎日を過ごしているおじいちゃんだが、まもなく死に別れなければならぬから。  
ウ おじいちゃんのこととは大好きだが、その考え方はみずほとはあまりにもちがって悲しいから。  
エ おじいちゃんは病気のなの子どものようにはしゃいでおり、みずほにはそれが理解できないから。

問九 ——— 線⑦「おじいちゃんはいいながらうなずいていた」の部分について述べたものとして、もつともふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 身の回りのすべてのものから生きるヒントが得られることに、おじいちゃんも気づき始めている。
- イ みずほに身近な自然から色々なことを学ぶことの大切さを、わかりやすく説明しようとしている。
- ウ みずほに自分の思いを伝えようとするだけでなく、自分自身にも言い聞かせるように話している。
- エ 自分の人生を思い起こして、言いまちがえないように一言ずつ確認しながらみずほに話している。

問十 次のうち、本文の内容に合っているものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア りんごの木の話も柿畑の話もみずほにはまったく理解ができないが、そう言うとおじいちゃんに申しわけないので、みずほはようすをさぐりつつおじいちゃんを病院にもどす方法を考えている。
- イ りんごの木や希望を持つことの大切さについての話は、みずほにとっては心から納得できるものではなかったが、おじいちゃんの話にはみずほなりにいっしょうけんめい耳をかたむけている。
- ウ りんごの木の話から、おじいちゃんは人の生きる意味について言おうとしているようだが、みずほはそこまで大げさには考えられず、まずはおじいちゃんが助かることを考えようとしている。
- エ 若いうちは何が何でも生きたいと考えていたおじいちゃんが、何の希望も持たず、ふつうの生活をしたいと望んでいることに対し、みずほはさびしさとやりきれなさを感じ残念に思っている。

四 次の記事を読み、あとの問いに答えなさい。

なぜ体育の授業でスポーツ種目を行うのか、という問いについて、一般的にはそれが子どもたちの成長に役立つから、という答えが予想できます。もしそうでなければ、体育の授業でいろいろなスポーツ種目をみんなでやる意味がなくなってしまう。

「成長に役立つ」と言われる内容を、もう少し具体的に考えてみましょう。A、すぐに思いつくものを挙げてみると、「スポーツの技術を身につける過程で努力することの大切さを学ぶ」であるとか、「仲間と連携したプレーを練習することで協調性を身につける」とか、はたまた、「チーム全員で目標を達成することによって一人では味わえない達成感を体験することができる」などもありそうです。もちろん、これらはすばらしい経験ですし、そのいずれもが、確かにスポーツを行うことでも実現できるかもしれないものです。

B、注意が必要なことは、それらがあくまでも、スポーツを行うこと「でも」実現できる「かもしれない」という点です。この「でも」と「かもしれない」という、奥歯にモノが挟まったような言い方には、重要な意味が込められています。

まず、「でも」の方からいきましょう。この「でも」が意味しているのは、先ほど挙げた「成長に役立つ」内容はスポーツでなくとも実現できる可能性がある、ということなのです。C、「努力することの大切さ」や「協調性」、「達成感」などは、スポーツでなくとも学ぶことはできます。音楽でリコーダーの練習を重ねることによって、それまでできなかった曲が吹けるようになるれば、「努力することの大切さ」を学んだり、「達成感」を味わったりできるかもしれません。ほかの教科においても、グループで協力して調べ学習を進めることによって、「協調性」を学ぶこともできるのではないのでしょうか。このように考えると、それらの「成長に役立つ」内容は、スポーツだけで学べるわけではないことがわかります。それはD、

スポーツ「でも」学べる、と言ったほうが適切だと考えられるわけです。

では、もう一つの「かもしれない」の方はどうでしょうか。これは文字通り、それらの内容がスポーツで実現できるとは限らない、ということを意味しています。これについて、次に考えてみましょう。

私たちの社会に根強い価値観の一つに、「スポーツは人を育てる」というものがあります。この価値観は、学校や社会のさまざまな場所で共有されています。それを支持している人の多くは、おそらく自身がスポーツによって成長したと感じている人です。その意味では、「スポーツは人を育てる」という価値観は、当事者のスポーツ経験に基づいていると言うことができます。

子どもの頃からスポーツに一所懸命に取り組んできた人が、その楽しさや素晴らしさを実感し、それをほかの人に伝えたいと思う気持ちはよくわかります。それは、私たちが面白い映画や漫画を友人に薦めることと同じような心理でしょう。しかも、スポーツの場合は、そこにかかわる時間が数年単位の長さに及ぶことも少なくありません。そのため、誰かに薦めたい気持ち

はより強くなる傾向にあるかもしれませんが。

ただし、その気持ちの強さには注意も必要です。

このように改めて考えてみると、「スポーツは人を育てる」という主張には、いろいろとツツコミどころがありそうです。たとえば、考えられる最もシンプルな反論は、「じゃあスポーツを経験した人は、みんなすばらしい人になっているのか？」というものでしょう。もちろん、そんなわけはありません。もしそうだとしたら、これほどスポーツが世界中に広まっているわけですから、この世界はもっと平和なはずです。でも、私たちの誰もが知っているように、現実はその逆はなっています。むしろ、スポーツの場においてさえ、暴力行為、人種や性に関する差別、さらにはドーピングなどの不正行為があとを絶ちません。となると、やはり私たちは、スポーツは人を育てる「かもしれない」と言わなければならないようです。

このようなスポーツの捉え方は、スポーツが文化であることに関連しています。もう少し正確に言うと、スポーツが、音楽や美術と同じように、人間が創り出した一つの文化であるからこそ、それが人を育てるとは限らないと考えられるわけです。ここは重要なポイントですので、詳しく考えてみましょう。

前章でも述べたように、私たちは現在、「文化としてのスポーツ」という捉え方を一般的にも受け入れるようになっていきます。それは、音楽や美術、文学や演劇といった文化とスポーツを同じように扱ってほしい、という願いの結果でもあります。もちろん、「文化」という言葉の定義は非常に複雑ですので、ここではひとまず、人間がその歴史のなかで創り上げてきたもの、と理解しておきましょう。そうすると、確かにスポーツも一つの文化だと言うことができそうです。

スポーツがそのように一つの文化であることは、同時に、スポーツが必ずしも人を育てるわけではないという帰結を導くこととなります。なぜなら、あらゆる文化は、人を育てるとか育てないといった点には、そもそも関係がないからです。

スポーツであれ音楽であれ、それらが最も原始的な状態で行われていたときのことを想像してみると、それらが人を育てるために始められたわけではないことがわかります。現実的に考えてみても、たとえば音楽について、歌を歌えば人が育つとか、ギターを弾けば人が育つとは、普通は言わないはずで、そこで育っているのは、人間性ではなく、歌唱や超絶技巧の能力です。

もちろん、それらの練習を積むことで、先ほど挙げた「努力することの大切さ」などを学ぶことはあるかもしれませんが、た

だ、それは「かも」なのであって、やはり副次的なものに過ぎません。それは音楽でもスポーツでも、同じように学べる可能性のあるものですから、逆に言えば、音楽やスポーツと本質的に結びついていないということです。したがって、私たちの社会で広く共有されている「スポーツは人を育てる」という価値観は、そうなる場合もあるけど、<sup>③</sup> そうならない場合もあるとしか、本当は言えないはずだ。

その意味では、スポーツという文化は「白色のカンヴァス」のようなものであると表現することができます。実際、私たちはスポーツに、ストレス発散や健康・体力の保持増進、さらには本章で見てきたように、金銭的な利益や教育的な意味など、さまざまなことを求めています。これらのことが示しているように、スポーツというカンヴァスにどのような色をつけるのかは、私たち次第だということです。

(坂本拓弥『体育がきれい』筑摩書房)

問一 空らん A D にあてはまる語を次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア むしろ      イ 確かに      ウ ただし      エ たとえば      オ だから

問二 ~~~~~線I「奥歯にモノが挟まったような言い方」、II「ツッコミどころ」の本文の中での意味としてふさわしいものを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

I「奥歯にモノが挟まったような言い方」

- ア 言いたいことをはっきり言わず、遠回しにまわりくどく話してしまうような言い方。
- イ 本来伝えたいことが自分でも明確に分からず、言葉を探しながら話すような言い方。
- ウ 相手を気にしすぎて言いたいことを言えず、あたりさわりのない表現をする言い方。
- エ 直接表現だと伝わり方がきつくなってしまうため、わざと間接的に表現する言い方。

II「ツッコミどころ」

- ア かたよった考え方から決めつけてしまったため、みんなが問題だと思ってしまうようなところ。
- イ たくさんの人がいっせいに声を上げたために、重大な問題点が明らかになったところ。
- ウ まちがっていたり、問題があったりするためにそこをとりあげたくなるようなところ。
- エ 一見すると正論に見えてしまうものの、実は色々な問題がひそんでいるようなところ。



問六 ———— 線③ 「そうならない場合もある」というのはなぜか、四十字以内で答えなさい。

問七 次の1～5について、本文の内容と合っているものはA、合っていないものはBと答えなさい。

- 1 スポーツに求めるものは人によってちがうように、文化の好みも人それぞれであるため、各自の自由な価値観によって自分が一番向いている文化を選ぶことが大切だと言える。
- 2 スポーツで学べることは学校の勉強や他の文化でも必ず学べるはずであるので、もし「体育ぎらい」であっても気にせずに、自分がおもしろいと感じるものを見つければいい。
- 3 文化とは人間が歴史の中で創りあげてきた様々なものであり、そこではその分野特有の技術が身に付けられることがあるが、それによって必ずしも人間性が育つとは言えない。
- 4 スポーツにより、その技術の向上だけではなく協調性や達成感を得ることができるが、それだけではなく、金銭的な利益や教育的な意味等がスポーツにこめられることもある。
- 5 長年その競技にたずさわった人のほとんどがスポーツのよさを認めているが、映画や漫画は個人で楽しむことが多いため「おもしろい」と感じる人はスポーツほどは多くない。

二〇二六年度 入学試験 国語（三次） 模範解答

一（十点／各一点）

- |   |    |   |    |   |       |   |     |    |     |
|---|----|---|----|---|-------|---|-----|----|-----|
| 1 | 洋風 | 2 | 座席 | 3 | 修（めた） | 4 | 規制  | 5  | 再製  |
| 6 | 酸  | 7 | 独断 | 8 | きちょう  | 9 | すみび | 10 | しぐさ |

二（十点／各五点）

- 1 姉の結婚式ははなやかに行われたが、準備は大変だった。
- 2 万が一、津波が来たときにそなえて、高台ににげる訓練が行われた。

三（四十三点）

⑥問一 A オ B ア C ウ （各二点）

⑧問二 I イ II エ III ウ IV ア （各二点）

③問三 ・おじいちゃんがじきに亡くなると考えたとでも悲しくなるから。（三十字）  
・病院で治療をしてほしいのにおじいちゃんがそれを認めないから。（三十字）

③問四 エ

⑥問五 ア 花が咲いてくれたお礼  
イ その子孫を残す  
ウ 肥料を追加する （各二点）

③問六 そのときどきのしないといけないこととする（生き方。）

③問七 花に声かけをするひいおばあちゃんの口ぐせを知らぬ間に引きついでいたという事実。

③問八 ア

②問九 ウ

③問十 イ

四 (三十七点)

⑧問一 A エ B ウ C イ D ア (各二点)

④問二 I ア II ウ (各二点)

②問三 (1) スポーツ以外の場でも可能なこと。

③ (2) 本来ルールが守られるべきスポーツの場においても不正行為が行われることがあるから。(四十字)

③問四 「努力する

③問五 イ

④問六 スポーツは文化であり、文化はそもそも人を育てるかどうかには関係がないものだから。(四十字)

⑩問七 1 B 2 B 3 A 4 A 5 B (各二点)

聖セシリア女子中学校

2026年度 入学試験問題

算数 3 次

注意事項

1. 問題は  ～  まで、5 ページあります。
2. 解答はすべて解答用紙に書きなさい。
3. 円周率は 3.14 を使用しなさい。
4. 定規・コンパス・分度器は使用できません。
5. 問題用紙の余白は計算に使ってかまいません。

受験番号

氏名

1 次の  にあてはまる数を入れなさい。

(1)  $30 - 12 \div 3 + 4 \times 5 =$

(2)  $\left(1\frac{1}{2} - \frac{1}{4}\right) \times \frac{2}{3} =$

(3)  $31.4 \times 1.5 + 0.314 \times 200 - 3.14 \times 5 =$

(4)  $\left\{\frac{1}{2} - \left(\frac{1}{3} - \frac{1}{4}\right)\right\} \div 1\frac{1}{4} =$

(5)  $\left(1.2 \div 1\frac{1}{2} - 0.3\right) \times \frac{3}{4} =$

(6)  $\frac{1}{4} +$    $\div \frac{2}{3} = 1$

(7) あるクラス的女子生徒の割合は全体の35%で14人のとき、このクラスの男子生徒は  人です。

2 次の各問いに答えなさい。また、答えを求めるときの式も書きなさい。

(1) 1個130円のアイスと1個160円のシュークリームを合わせて13個買い、さらに1本120円のジュースを2本買ったところ、代金は合わせて2050円でした。このとき、アイスは何個買いましたか。

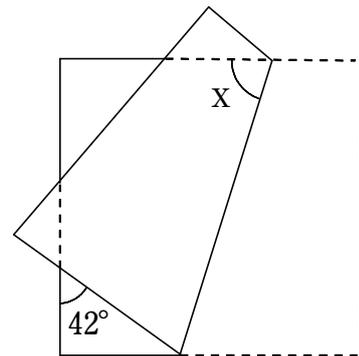
(2) A組28人の平均点は74.5点で、B組30人の平均点は80.3点でした。この2つのクラスの平均点は何点ですか。

(3) 90個のアメをA、B、Cの3人で分けます。AはBより4個少なくもらい、BはCより11個多くもらいます。Aがもらうアメは何個ですか。

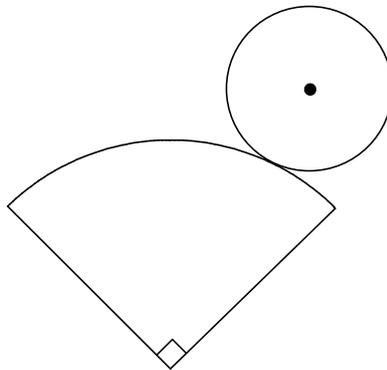
(4) 毎分140mで泳ぐペンギンと、毎分300mで泳ぐイルカが、同じ場所から同じ方向に泳ぎます。ペンギンが泳ぎ始めてから8分後にイルカは泳ぎ始めました。イルカがペンギンに追いつくのは、ペンギンが泳ぎ始めてから何分後ですか。

3 次の各問いに答えなさい。

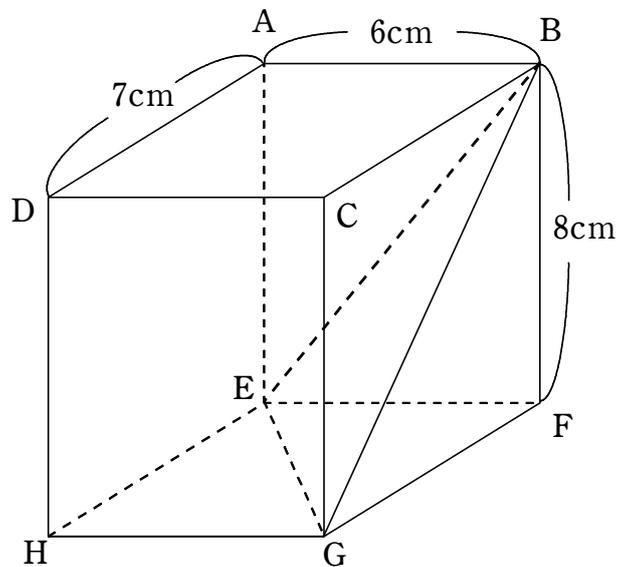
- (1) 右の図は、正方形の紙を折り曲げた図です。  
角Xの大きさを求めなさい。



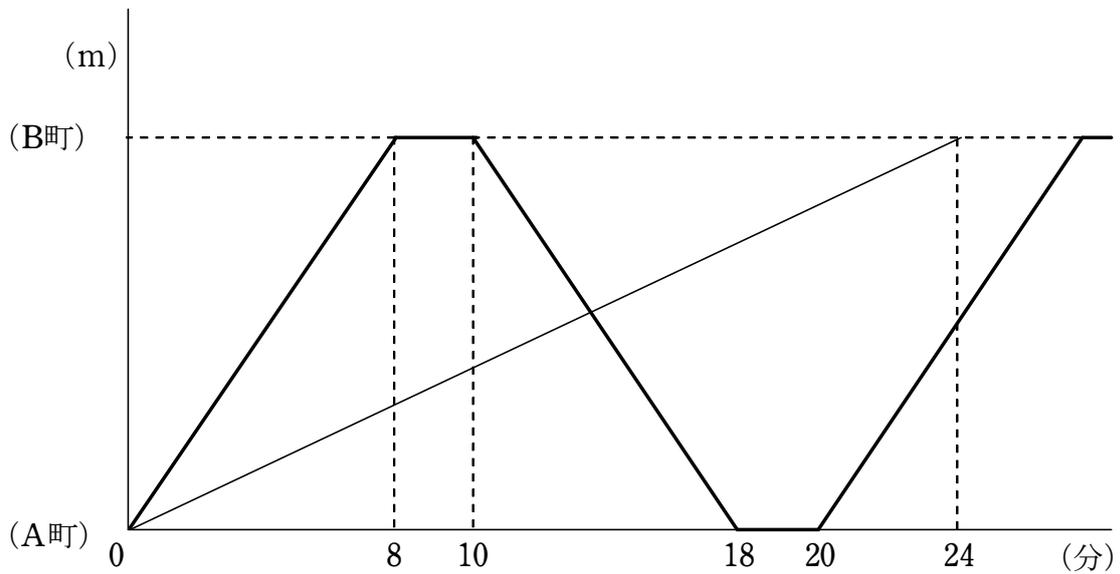
- (2) 下の図は、半径2cmで中心角90°のおうぎ形の周りを、半径1cmの円がすべることなく1周します。円が通った部分の面積を求めなさい。



- (3) 下の図のような直方体があります。底面がEFG、高さがBFの立体の体積と、残りの立体の体積の比を求めなさい。



4 A町とB町の間をバスが往復しています。花子さんはバスがA町を出発すると同時に自転車で時速15kmでA町からB町に向かいます。下のグラフは、バスと花子さんがA町を出発してからの時間とA町からの道のりを表したものです。次の各問いに答えなさい。



- (1) A町からB町まで何mありますか。
- (2) バスの速さは時速何kmですか。
- (3) 花子さんとバスが出会うのは、花子さんが出発してから何分何秒後ですか。



2026年度 算数 3次試験 解答

1 (1)~(5) 各5点 (6),(7) 各4点

(1) 46 (2)  $\frac{5}{6}$  (3) 94.2 (4)  $\frac{1}{3}$

(5)  $\frac{3}{8}$  (6)  $\frac{1}{2}$  (7) 26人

2 (1)~(4) 各7点

(1) 9個 (2) 77.5点 (3) 31個 (4) 15分後

3 (1)~(3) 各4点

(1) 66度 (2) 26.84  $\text{cm}^2$  (3) 1:5

4 (1),(2) 各4点 (3) 5点

(1) 6000m (2) 時速45km (3) 13分30秒後

5 (1)4点 (2),(3)各5点

(1) 15個 (2) 16段目 (3) 312個